

世田谷区議会議員 神尾りさ通信

SETAGAYA CONNECT

世界とつながる世田谷へ

REPORT：議会報告

「令和6年 第3回・第4回区議会定例会報告」

ACTION：活動報告

「ドキュメンタリー映画

『小学校～それは小さな社会～』劇場公開」

INFORMATION：お知らせ

「池ノ上を中心とした

エリアリノベーション事業が始動開始」



2025. Vol. 1

国の「こども未来戦略」では、経済成長と少子化対策を車の両輪として、2028年度までに年3.6兆円の財源を投じる予定です。子ども一人当たりの家族関係支出で見ると、日本の子ども・子育て関係予算はOECD トップ水準のスウェーデンに達する見込みです。国の子ども・子育てへの財源が最高額となる今を契機と捉え、区民の生活に最も近い基礎自治体として、当区においても、少子化傾向を反転させるために、取り組みを強化させる必要があると考え、区で実施している事業について質問しました。

少子化傾向を反転させる為の戦略について

①世田谷版ネウボラによる子育てしやすい環境づくりについて世田谷区では、子どもを生ま育てやすいまちを目指して、フィンランドの取り組みを参考にし、妊娠期から子育て期にかけて家庭に寄り添った切れ目ない支援を行っており「世田谷版ネウボラ」と呼んでいます。

その取り組みを子育て世代以外の方にも広く周知し、世田谷区が子どもを生ま育てやすいまちであるというイメージを築くことで、長期的な少子化の反転につなげるべく、質問しました。



令和6年
第3回定例会
9月18日(水)
本会議 一般質問



映像視聴

「世田谷版ネウボラ」について

<https://www.city.setagaya.lg.jp/02413/1187.html>



②児童館を軸にした、子どもの居場所をつなぐフローターについて区内にある児童館2館でモデル的に実施を始めた子どもの居場所フローターは、地域にある子どものための資源を横つなぎにする取り組みです。イギリス・ウェールズで同様の働きをする役割からアイデアをもらい、区が実験的に始めた事業です。子どもたちが居心地が良いと思う場所を地域で可視化し、共有することで、子どもを見守り、支えるネットワークが強化され、子育てしやすい文化につながるよう、問いました。

③リプロダクティブヘルス・ライツの推進について

諸外国と比較して、性に関する知識の提供が大きく遅れている日本。世田谷区では保健所主導で若者の性に関する知識をわかりやすくまとめた冊子「こころとからだのトリセツBOOK」を発行し、助産師などの専門家とともに中学校に派遣する事業を始めました。自らの人生設計に欠かすことができない大切な体や心のことを若者のうちから知ることができる知識をすべての若者に伝えるための取り組み強化を求めました。



④婚活支援事業について

経産省の「地域の包括的成長」検討チームの資料では、1972年と2015年の婚姻数を比較すると、自由恋愛等による婚姻数はほぼ変わらないのに対し、お見合い結婚と職場結婚が減ったという分析が紹介されています。つまり、お見合いや職場での出会いが減少したことが、婚姻数全体の減少に大きく影響しており、かつての日本にあった、信頼する人の紹介や場所での出会いの機会の必要性が問われているとも言えます。区で始めた婚活イベントが、出会いを求める人の背中を押すことに期待し、質問しました。

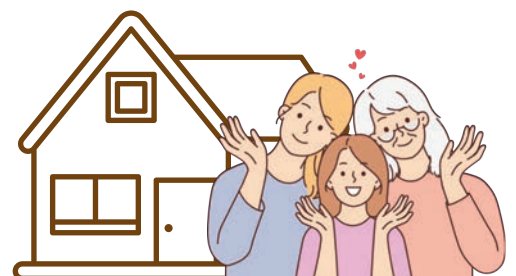
12月7日に開催された「せたがや婚活イベント」

<https://www.city.setagaya.lg.jp/02236/19872.html>



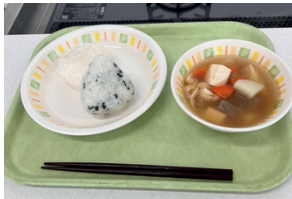
⑤子育て世帯の近居を推進する補助金制度について

区では、ひとり親世帯の家賃低廉化や子育て支援マンション認定制度の拡充など、さまざまなメニューを用意していますが、4月から新たに「近居・同居の推進に向けた費用助成」が始まることになりました。多世代での子育てを推進する取り組みとして、住宅政策が少子化トレンドの反転にも寄与するよう求めました。



年間約160日使われない 「学校」を活用した地域づくりについて

世田谷区には、区立小中学校があわせて90校あります。区内のどこに住んでいても、学校は身近に必ずある公共施設ということになりますが、年間365日のうち約160～170日間は、学校施設はほとんど使われていません。学校の設計において、地域利用が可能なエリアを普通教室等と明確に区分けし、地域に根差した学校づくりの好事例を増やすことを求めました。



また私自身も、地域で新たに事例づくりとなる取り組みを始めることにしました。4年間PTA会長を務める区立小学校で、保護者や地域の方々と協力して、週末に子どもと地域の食堂を始めることになりました。区では、子ども食堂を始めるグループに対して



運営費の助成を行っており民間からの支援も活かしながら、地域の子どもの高齢者まで年代や環境を超えて食を囲み、顔見知りになって支え合えるよう、息の長い活動となることを目指します。



子どもや大人のウェルビーイングを高める 社会教育活動としての「PTA」について

旧態依然の体制や、共働き世帯の増加などを背景に、昨今PTAにはネガティブなイメージがもたれていますが、PTAは本来、社会教育の軸となる活動であり、その目的は、保護者と教職員が、子どもの健全な育成と幸福を目指して、相互に学び合うということにあります。これまで4年間、息子が通う区立小学校のPTA会長を務めた経験をもとに、PTAが保護者自身の自己成長にもつながる意義深い活動であることの発信を強化し、また地域活動とつながるPTAメンバーを迎える土壌づくりの必要性を求めました。

人生を豊かに生きるための力を養う「あそび」について

日本のIQは世界109カ国中1位(※1)ですが、心の知能指数EQは世界160カ国中、最下位(※2)であることに危機感をもっています。EQは、リーダーシップ、コミュニケーション、イノベーション、モチベーションなど、思考や行動、意思決定や感情と密接に関わり、不確実性が高い現代社会において特に必要とされる力だからです。子どもや若者が訴える、遊んだり学んだり、のんびり過ごしたりする時間が保障されていない実態を変え、子どもの心の育ちに必要な「あそび」の重要性を問い、あそびの時間と機会の確保の必要性を訴えました。昨年の国連総会にて、遊ぶことの大切さを国際的に啓発する「国際あそびの日(International Day Of Play)」を設立する決議が採択され、毎年6月11日が「国際あそびの日」になりました。世田谷区でも遊ぶことの大切さや楽しさなどを啓発していくことになっています。子どもから大人まで皆で遊びましょう!

※1 「2024世界で最も知的な国ランキング」より

※2 2019年の米国Six Seconds社の発表より

「国際あそびの日」について

<https://www.city.setagaya.lg.jp/02247/15350.html>



令和6年
第4回定例会
11月27日(水)
本会議 一般質問



映像視聴

ドキュメンタリー映画 劇場公開！ 「小学校～それは小さな社会～」

4年前から関わってきた企画がやっと実現しました。世田谷区立塚戸小学校を舞台に4000時間の取材をもとに製作されたドキュメンタリー映画「小学校～それは小さな社会～」が満を持して劇場公開になりました。昨年度から世界各地で先行上映されており、教育大国フィンランドでは、異例のロングランを達成した作品です。日本の教育の中でも、特に「特別活動」と呼ばれる給食配膳や掃除などをはじめとする、児童が学校で役割を担う活動に焦点をあて、日本人の気質を作ることに日本の教育が寄与していることがテーマとなっています。これからの日本の教育について考え、守るべき大切なことと、変えなければならぬことについて個々人が考え、実践していくきっかけとなる作品になると良いです。

短編版の`Instruments of a Beating Heart`は、今年のアカデミー賞にもノミネートされました。ぜひご覧ください！

教育大国フィンランドで
拡大上映大ヒット！



公式HP

子どものやりたい！を実現する Fun! Fan! ファンディング事業

世田谷区が子どもがやりたいことを応援するために助成金を出す初めての取り組みFun! Fan! ファンディング事業。子どもたちが地域を良くするために提案するアイデアを形にする取り組みです。助成を受けた「世田谷名探偵」チームの5, 6年生が企画した謎解きゴミ拾いイベントが実施され、大勢の子どもたちが参加しました。ゴミ拾いをして街がきれいになると同時に、参加する人たち自身にも謎解きをやって楽しんでほしい、という子どもたちの工夫が大勢の人たちを笑顔にした素晴らしいイベントでした。



INFORMATION お知らせ

池ノ上を中心とした エリアリノベーション事業 始動開始

商店街をまちづくりや地域コミュニティの拠点として捉え、街にかかわる体制、人材取り組みをサポートすることで新たな需要を生み、地域全体の価値向上を目指す「エリアリノベーション」事業のモデル事業に池ノ上駅周辺が選ばれました。街のさまざまな人達が関わり、街の未来像を共有しながら話し合いや取り組みを進めていくことになります。商店街の在り方も転換期を迎えており、今後の発展に期待しています。



報告会&講演会の
アーカイブ視聴が可能です！
こちらの
参加申込のQRコードより
お申し込みください。



世田谷区議会議員 神尾りさ

東京都世田谷区生まれ。聖心女子大学英文科を卒業後、渡米。米国メリーランド州小学校日本語教師、ワシントンDC日米協会・教育プログラムディレクター等を務める。2016年に帰国後、一般社団法人日本国際教育協会を設立、専務理事。2019年に世田谷区議会議員初当選、現在2期目、無所属「国際都市せたがや」。世田谷区立小学校PTA会長。家族は夫と息子。

お友達募集中
LINE公式アカウント

神尾りさ

神尾りさ
@risakamio

各種SNSのフォロー
宜しくお願いいたします！

神尾りさ
https://www.facebook.com/kamiorisa

神尾りさ 世田谷区議会議員(無所属)
@RisaKamio

世田谷区議会議員 神尾りさ HP / メールアドレス
http://kamiorisa.tokyo / global@kamiorisa.org

